

きっずサポートえみ 支援プログラム



作成日 令和6年9月24日

事業所名	きっずサポートえみ		サービス種別	児童発達支援・放課後等デイサービス	
事業所理念	<p>「安心」・「信頼」・「成長」の3本柱を軸に、</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもたちの可能性を信じ、「できた！！」瞬間を一緒に喜び、一緒に成長します 子どもたちの将来のために、わたしたちがその「きっかけ」になります 子どもたちの心よりどころになります 				
支援方針	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちの「安全」を第一にサポートをします 子どもたちのペースや気持ちを大切にしながら、子どもたちの頑張りをサポートします スモールステップで挑戦し、子どもたちが一つひとつステップアップしていける支援を大切にしています 「できた」瞬間を子どもたちや保護者と一緒に共感しながら、楽しく過ごせる環境を整えます 				
サービス提供時間	平日/11:00～17:30 土・祝/10:30～17:00 長期休暇/10:30～17:30	送迎	あり		
支援内容例					
本人支援	健康・生活	到着から帰る時間まで写真ボードやイラストカードを活用し、手洗いうがいや着替え、トイレなど身辺自立に向けた支援を行います。			
	運動・感覚	作業療法士監修のもと、子どもたちの苦手な部分や障がい・年齢などの特性を踏まえ、身体の正しい使い方や感覚統合を楽しく身に着けられるように子どもたち一人ひとりに応じた運動・感覚プログラムを提供しています。			
	認知・行動	ビジョントレーニングやソーシャルスキルトレーニングなどを通して、「見る」「聞く」「感じる」ことにスポットをあてます。子どもたちの特性に合わせて「色」「形」「数字の概念」「音」「声」「感触」に働きかけ、その中で自然に身に着けていけるようにサポートをしています。			
	言語・コミュニケーション	写真イラストや意思表示カードを活用し、発語が難しい子どもたちが自分の気持ちを表現する楽しさ・嬉しさを感じられるように促します。適切に活用できるようになった段階で、発音・発語やサインへと移行し、最終的に子どもたちの特性にあわせ、単語や適切な表現で伝えられるようにサポートをします。			
	人間関係・社会性	学校や保育所などの大集団の中で子どもたちが実践できるようになることを目標に、中集団のなかで集団活動に挑戦します。子どもたちの特性を踏まえ、いいところを伸ばし、課題を少しずつ解消できるように集団療育プログラムを提供しています。			
家族支援	LINEやアプリを活用し、困りごとや相談をリアルタイムでやり取りを行っています。また、希望に応じて面談や家庭訪問を行い、家庭や学校、保育所、事業所での様子を共有し、子どもとの関わり方の助言を行っています。				
移行支援	学校や保育所へスムーズに移行ができるよう、子どもたちの特性に合わせ、「座る」「話を聞く」「目を合わせる」「身辺自立」などの生活動作や視覚情報を自ら集め、行動する力を身につけることを中心にした支援を行っています。				
地域支援	主に土曜日や祝日を利用し、近隣地域のイベントに参加しています。その中で地域の方に事業所や子どもたちの存在を認識してもらい、交流を図っています。				
職員の質の向上	子どもたちの特性に適した支援方法について話し合いや実践形式のレクチャーを行い、職員一人ひとりの支援に対する悩みや疑問を解消し、より良い支援を目指す指導を行っています。 新たな制度を学んだり、スキルを身につけるための研修に積極的に参加しています。				
主な行事	土曜日・祝日/おやつづくり・ランチづくり・公共機関（電車・バス）を使って屋外活動 お花見・こどもの日イベント・七夕・夏祭り・夏休みイベント・えみ創立イベント・ハロウィン・クリスマス会・初詣節分・ひなまつり・卒園卒業祝い・入学進級祝い・誕生日会など				